

## 町のキラリ ★ 町長の事業所訪問

### 第8回「ダイダン株式会社」

町内には、まだまだ知られていない「キラリ」と光る事業所が多く存在します。事業所を町長自ら訪問して、事業所の概要や今後の展望等を聞き、それを住民に紹介する「町のキラリ★町長の事業所訪問」を6月23日(月)に実施しました。



問 観光産業課商工観光担当（内線214・215）

第8回は、6月23日(月)に北永井の「ダイダン株式会社」を訪れました。建物等の総合設備工事分野で、創業110年という長年に渡り国内外で活躍し、三芳町には研究開発拠点の技術研究所があります。「光と空気と水を生かす」企業として、建物の電気・空調・給排水設備等を担い、様々な場面に応じた快適空間を創造しています。今回は昨年竣工された新研究棟を訪ね、新研究棟では、スマートエネルギー時代に対応した、「省・創・蓄」エネルギーの研

究開発が進められ、環境に配慮した技術が多数盛り込まれていました。建物全体が低エネルギーで効率の良い空間を作り出す実験の場にもなっています。医療施設関連技術コーナーや化学実験室、大空間実験室、音響実験室、省エネルギー技術など、どれも大変驚かされる技術がたくさんありました。夜間の安価な電力を使用して昼間建物内の温度をコントロールする技術は、ダイダン(株)の施工により、三芳町役場庁舎にも導入され、快適な空

間を作り出しています。また、東北大学と産業技術総合研究所との共同研究により実現した超臨界CO<sub>2</sub>を使った活性炭エアフィルターの洗浄再生技術では、公益社団法人化学工業会から技術賞を受賞。今までは捨てるだけだった高額な脱臭用フィルターが再生可能になったそうです。ダイダン(株)の頭脳というべき開発技術本部、施工技術本部、技術研究所が三芳町の施設に集約されており、ここから最先端技術が日本のみならず、海外に

も発信されています。普段すごしている何気ない空間にもたくさん技術が込められていること、こうした技術が三芳町で研究され生み出されていることに感慨深い気持ちになりました。「私達は直接目に見えるものではない、心地よさを創りだしています(所長)」この言葉に、技術に裏打ちされた自信が満ちあふれていると感じることができました。これからも総合設備工事業者の先駆者として、ますますのご発展をご祈念申し上げます。

#### ダイダン株式会社



名称 ダイダン株式会社 会長：菅谷 節 社長：北野 晶平  
所在地 〒354-0044 三芳町北永井 390 番地  
Web <http://www.daidan.co.jp>

快適を科学する、総合設備工事業。ダイダンは、「光と空気と水」を生かし、人と地球の新しい関係を拓きます。当社は事業を通じて社会の発展に寄与することが使命であると考え、企業としての社会的責任を果たすための企業経営を進めています。

# 災害から自分の身を守る。

9月1日は関東大震災が起きた日として、「防災の日」に定められています。東日本大震災から今年で3年半、昨年度は県内でも竜巻や積雪による被害が相次ぎました。これらの教訓を忘れずに、家庭や地域、職場などで災害のための備えを確認しましょう。

問 自治安心課防災担当（内線265・266）

## 災害が起きる前に……

もしも大規模な災害が起きたときにどんな行動をしたらよいか、日ごろから確認できていないと、いざというときに動くことができません。次の5つの対策を確認しましょう。

- 非常持ち出し品を準備して、いつでも持ち出せるようにしておく。
- 家の中の避難路を確保する。家具の転倒、落下防止対策をする。
- 停電した電気が復旧した後に起こる「通電火災」を防ぐ対策をする。
- 行政区ごとに指定されている避難所、一時避難地を確認する。
- 家族で合流できるように、集合場所や連絡方法を確認する。

## 行政区に加入しましょう

都市機能がマヒした状況では、しばらくは防災機関の活動が困難になって

きます。阪神淡路大震災では、倒壊建物から救出された約7割の人が、地域の人たちによる自発的な消火・救出活動によって救出されたという報告があります。日ごろから自治活動に参加し、人と人とのつながりを作っておくことが、いざというときの頼りになります。

## 避難訓練を実施

10月18日(土)には、町全体としては初となる「地域連携避難訓練」を開催します。この訓練は、避難所となる学校を主な会場として、行政区、民生委員、消防団、学校などで構成された各避難所連絡会議が主体となって避難訓練を行い、町災害対策本部との情報伝達体制をチェックするものです。

また、この訓練を開始する際、防災行政無線を用いて、地震発生の訓練放送を行いますので、それに合わせて机の下で防御姿勢をとるなどの訓練を行



いざという時のため、非常持ち出し品を準備し、家具や家屋が倒れても取り出しやすい場所(家の外の倉庫・車のトランク・家の出入り口付近など)においておきましょう。

いましょう。詳細は、広報みよし10月号でお知らせします。

また行政区・自治会でも独自の訓練を実施しているところがあります。こうした訓練に参加したり、近隣との交流を深めながら、災害に備えましょう。

## 企業・事業所の皆さんへ

首都直下地震帰宅困難者等対策協議会では、「事業所における帰宅困難者対策ガイドライン」(<http://www.bousai.go.jp/fishin/syuto/kitaku/pdf/guideline01.pdf>)を策定しています。このガイドラインを確認し、それに沿った対応のご協力をお願いします。

## 【登録制メールで防災情報が届きます】

埼玉県…「埼玉県防災情報メール」で気象警報や地震情報を配信しています。

<http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html>

三芳町…「三芳町地域コミュニティメール」を防災行政無線で放送された情報や、防犯情報などを配信しています。

[http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/bousai/bousai/community\\_mail.html](http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/bousai/bousai/community_mail.html)